



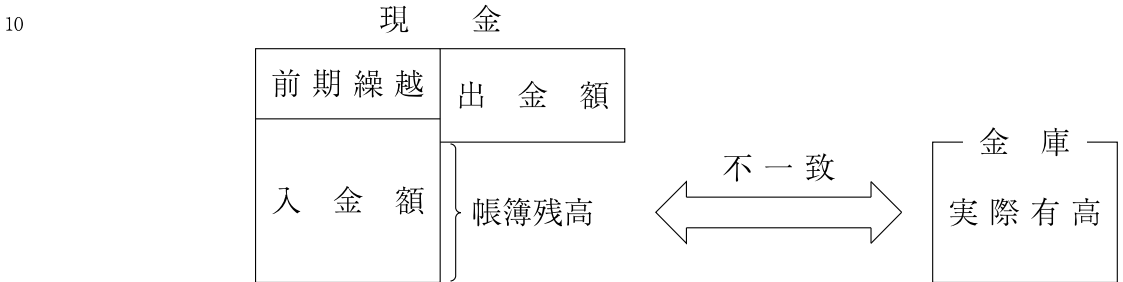
簿記論

計算テキスト 1

2 現金過不足

① 概要

現金取引が正しく記帳されている場合、現金の帳簿残高（現金勘定の残高）は実際有高（金庫の中にある実際の現金有高）と必ず一致する。しかし、現金取引が正しく記帳されていない場合には両者の間に不一致が生じる。現金の実際有高と帳簿残高に生じた不一致の発生を現金過不足という。

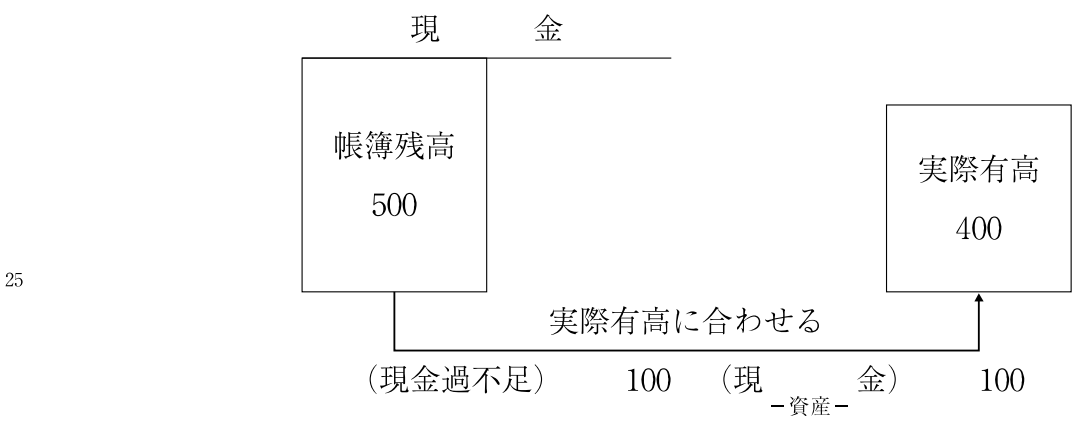


② 会計処理

(1) 期中に現金過不足が生じた場合

① 期中実査時

期中に現金の帳簿残高と実際有高に差額が生じた場合には、帳簿残高を実際有高に合わせ、相手科目は「現金過不足」として処理する。



② 原因判明時

決算までの間にその過不足の原因が明らかになった場合には、該当科目へ振り替える。

③ 決算時

決算時においても、その過不足の原因がいまだ不明なものは、「雑損失」又は「雑収入」として処理する。

設 例

以下の取引について、仕訳及び総勘定元帳（日付及び金額）の記入を行い、試算表を作成しなさい。（会計期間：X1年4月1日～X2年3月31日）

1. 2月28日に現金の実査を行ったところ、現金の実際有高が9,000円であり、帳簿残高10,000円との間に差異のあることが判明した。
2. 3月1日に上記不足額について調査を行ったところ、旅費交通費200円の計上漏れが判明した。
3. 決算において上記残額の調査を行ったが、原因は判明しなかった。

解 答

1. 2月28日（期中仕訳）

（現金過不足） 1,000 （現金） 1,000
-資産-

総勘定元帳

	現	金
	10,000	2/28
		1,000
	現金過不足	
	2/28	1,000

2. 3月1日（期中仕訳）

（旅費交通費） 200 （現金過不足） 200
-費用-

総勘定元帳

	現	金
	現金過不足	
	2/28	1,000
		3/1
	200	200
	旅費交通費	
	3/1	200

決算整理前残高試算表

		決算整理前残高試算表	（単位：円）
現	金	9,000	
現金過不足		800	
旅費交通費		200	

3. 3月31日（決算整理仕訳）

（雑 損 失） 800 （現金過不足） 800
 -費用-
 総勘定元帳

現金過不足	
2/28	1,000
3/1	200
3/31	800
雑 損 失	
3/31	800

決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表		(単位：円)
現 金	9,000	
旅 費 交 通 費	200	
雑 損 失	800	